



2018年2月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社ジェイグループホールディングス
(3063)

2017年10月18日



1. 連結決算概要

決算ハイライト	-----	4
連結損益計算書概要	-----	5
連結貸借対照表概要	-----	6
連結キャッシュ・フロー計算書概要	-----	7
セグメント別業績概況	-----	8
飲食事業の業態分析	-----	9

2. トピックス

3期振りに第2四半期で黒字化を達成	-----	11
既存店収益状況	-----	12
新業態の着実な成長	-----	13
第2四半期の新規出店	-----	15
カフェ・レストラン業態のテコ入れ	-----	17
店舗数の推移	-----	18

3. 今後の取り組み

名古屋100店舗計画への取り組み	-----	20
社内カンパニー制の開始	-----	21
グループでの法人囲い込み	-----	23
今後の新規出店予定	-----	24
非常識への挑戦	-----	26
新たな+αの創出	-----	27
La Boca CentroがAAPアワードを受賞	-----	28
今期の業績見通し	-----	29



1. 連結決算概要



1 売上高は過去最高を更新

連結売上高は前年同期比 104.4% の 7,248 百万円となり、過去最高を更新。

2 営業利益、経常利益ともに黒字転換

売上高の増加に加えて、これまでに取り組んできたコストコントロールの取り組み等により黒字化を達成。

3 不採算店舗の整理で特別損失を計上

カフェ、レストランを中心とした不採算店舗の店舗閉鎖損失により特別損失を計上。

連結損益計算書概要



	2017年2月期 第2四半期		2018年2月期 第2四半期		前年同期比 (%)
	実績(百万円)	構成比(%)	実績(百万円)	構成比(%)	
売上高	6,941	100.0	7,248 ①	100.0	104.4
売上原価	2,159	31.1	2,259 ②	31.2	104.6
売上総利益	4,781	68.9	4,988	68.8	104.3
販売管理費	4,793	69.0	4,985	68.8	104.0
営業利益 または営業損失	△11	—	3 ③	0.0	—
営業外収益	56	0.8	74	1.0	130.2
営業外費用	83	1.2	60	0.8	72.3
経常利益 または経常損失	△37	—	16 ③	0.2	—
特別利益	4	0.1	—	—	—
特別損失	67	1.0	83 ④	1.2	124.6
税金等調整前 四半期純損失	△100	—	△66	—	—
当期純損失	△86	—	△56	—	—

① 売上高は前年同期比 104.4% となり過去最高の売上高を達成。

② 飲食事業単独での原価率は 27.9% となり、前年同期比 0.6 ポイント増加したが、コストコントロールにより想定通りで推移。

③ 売上高の増加、コストコントロールの実施により営業利益、経常利益ともに黒字転換を達成。

④ カフェ、レストラン業態の不採算店舗の閉鎖により、店舗閉鎖損失を計上。

連結貸借対照表概要



(百万円)	2017年2月期 期末	2018年2月期 第2四半期末	(百万円)	2017年2月期 期末	2018年2月期 第2四半期末
資産の部			負債の部		
流動資産	1,500	1,243	流動負債	2,960	2,996
現金及び預金	749	440	買掛金	498	410
売掛金	322	376	短期借入金 ※	1,135	1,213
たな卸資産	118	120	その他	1,326	1,373
その他	309	306	固定負債	4,015	4,038
固定資産	7,140	7,546	長期借入金	3,386	3,354
有形固定資産	5,594	5,963	その他	628	684
建物及び構築物	3,379	3,267	負債合計	6,976	7,035
土地	1,623	1,761	純資産の部		
その他	591	934	株主資本	1,705	1,792
無形固定資産	27	22	資本金	1,068	1,146
投資その他の資産	1,519	1,560	資本剰余金	998	1,076
繰延資産	1	3	利益剰余金	△286	△355
資産合計	8,642	8,793	自己株式	△76	△76
			その他の包括利益累計額	△42	△35
			新株予約権	3	1
			純資産合計	1,666	1,758
			負債純資産合計	8,642	8,793

※一年内返済予定長期借入金含む

連結キャッシュ・フロー計算書概要



(百万円)

	2017年2月期 第2四半期	2018年2月期 第2四半期	ポイント
営業活動によるキャッシュ・フロー	359	209	税金等調整前四半期純損失 △66百万円 減価償却費357百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△419	△837	新規出店等の設備投資による 有形固定資産の取得 769百万円 差入保証金の差入73百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	59	319	長期借入れ707百万円 長期借入金の返済590百万円
現金及び現金同等物の増減額	△3	△308	
現金及び現金同等物の期首残高	289	749	
現金及び現金同等物の期末残高	286	440	

セグメント別業績概況



(百万円)

		2017年2月期 第2四半期	2018年2月期 第2四半期	前年同期比 (%)	ポイント
飲食事業 居酒屋、レストラン等での 飲食サービスの提供	売上高	6,250	6,621	105.9	居酒屋業態の新規店舗が着実に成長することで売上高・営業利益ともに増加。
	営業利益	245	303	123.6	
不動産事業 不動産の賃貸・管理業務等	売上高	943	1,014	107.5	前期5月オープン「jG金山」が期初より稼働したことで売上高が増加。社員寮の新設による費用負担等で営業利益は減少。
	営業利益	100	83	83.6	
ブライダル事業 挙式・披露宴サービスの提供	売上高	368	351	95.5	中間期までの挙式件数は若干減少し、売上高・営業利益ともに減少。
	営業利益	2	△4	—	
その他の事業 広告代理業、卸売業等	売上高	465	445	95.8	FC店舗の減少等により卸売関連の売上高が若干減少し、売上高・営業利益ともに減少。
	営業利益	22	17	76.4	
調整額	売上高	△1,086	△1,185	—	
	営業利益	△382	△397	—	
連結財務諸表 計上額	売上高	6,941	7,248	104.4	
	営業利益	△11	3	—	

飲食事業の業態分析



(百万円)

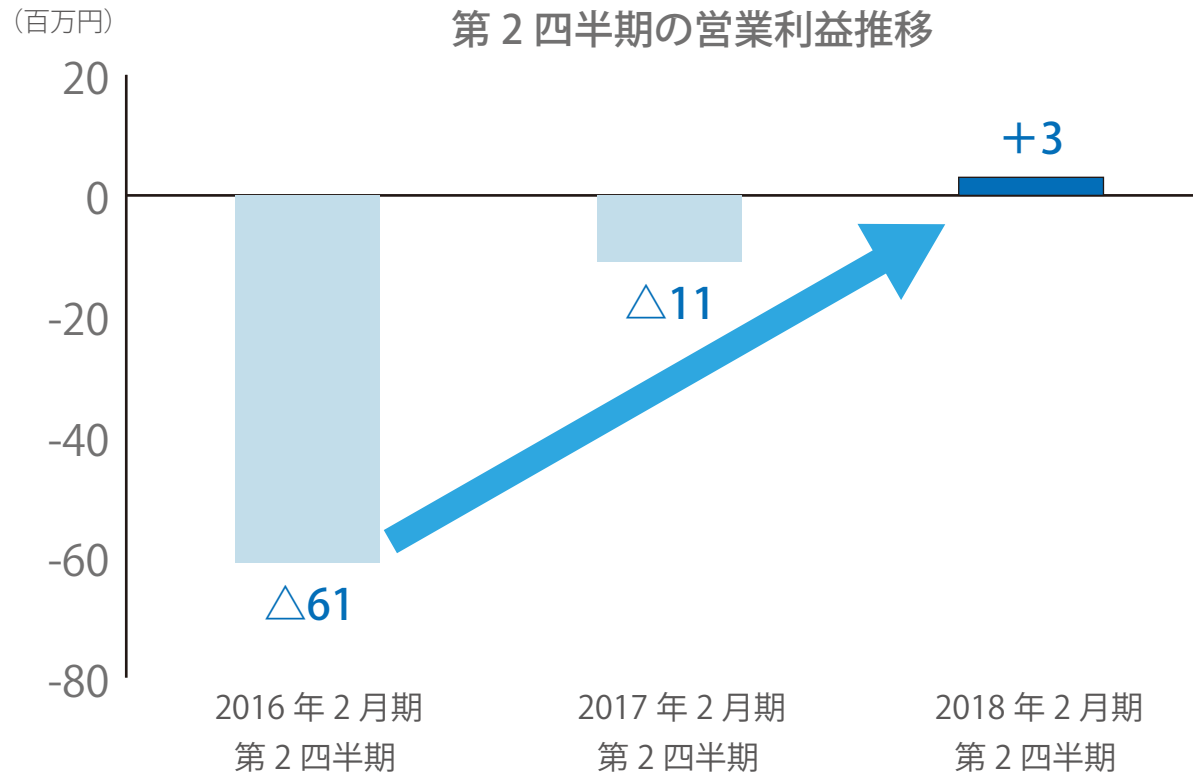
		2017年2月期 第2四半期	2018年2月期 第2四半期
居酒屋業態	売上高	4,857	5,185
	営業利益 (本部経費配賦前)	588	556
レストラン業態	売上高	859	875
	営業利益 (本部経費配賦前)	60	41
カフェ業態	売上高	433	377
	営業利益 (本部経費配賦前)	2	△16



2. トピックス

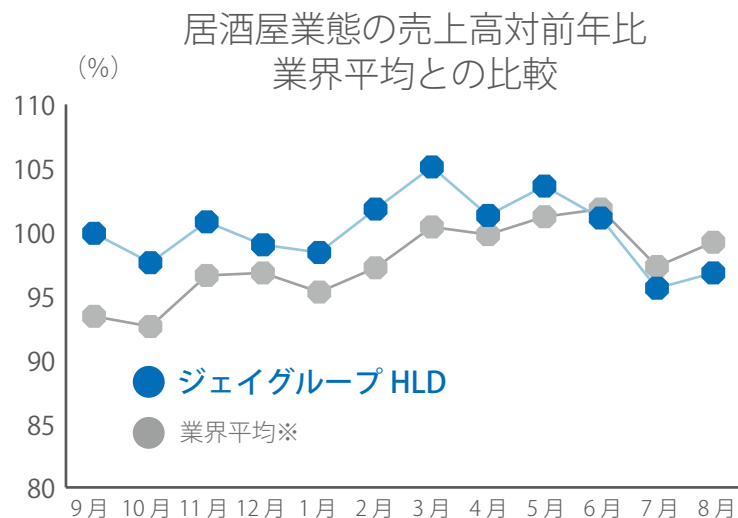


3期振りに第2四半期で黒字化を達成

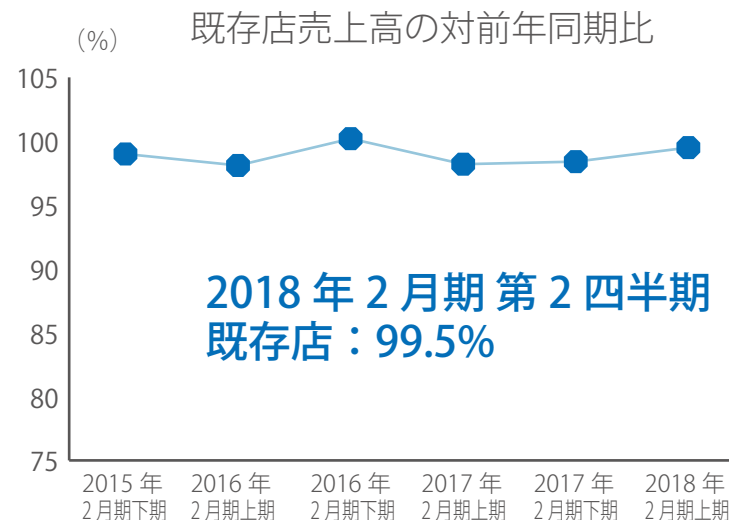


- これまでに取り組んできたコストコントロール施策、ならびに新規オープン店舗の順調な成長により夏季の天候不順等による落ち込みを吸収し、3期振りに営業利益で黒字化を達成。

既存店収益状況



※出典：日本フードサービス協会



		2016年				2017年		2017年2月期実績	2017年						2018年2月期第2四半期実績
		9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月	4月	5月	6月	7月	8月	
居酒屋業態	売上高前年同月比	99.9%	97.6%	100.8%	99.0%	98.4%	101.8%	99.0%	105.1%	101.3%	103.6%	101.1%	95.6%	96.8%	100.6%
	来店客数前年同月比	100.4%	97.1%	100.2%	99.0%	97.4%	100.3%	97.7%	104.7%	100.4%	102.2%	99.9%	95.0%	96.3%	99.7%
	客単価前年同月比	99.6%	100.5%	100.6%	100.0%	101.0%	101.5%	101.2%	100.4%	100.9%	101.4%	101.3%	100.7%	100.5%	100.9%
レストラン業態	売上高前年同月比	93.4%	100.9%	92.6%	98.0%	99.1%	89.8%	98.3%	94.7%	100.8%	91.3%	96.9%	93.6%	98.2%	95.8%
	来店客数前年同月比	98.3%	101.0%	95.8%	102.8%	97.8%	90.3%	100.8%	98.8%	101.3%	92.0%	93.1%	93.5%	95.6%	95.4%
	客単価前年同月比	95.0%	99.9%	96.6%	95.3%	101.4%	99.4%	97.6%	95.9%	99.5%	99.3%	104.1%	100.2%	102.8%	100.4%
カフェ業態	売上高前年同月比	86.6%	92.0%	88.5%	94.3%	91.5%	87.3%	90.1%	93.7%	92.9%	86.9%	87.4%	92.7%	91.4%	90.8%
	来店客数前年同月比	86.5%	89.3%	87.2%	91.4%	89.9%	85.6%	89.1%	90.5%	90.9%	85.1%	81.1%	87.0%	86.6%	86.9%
	客単価前年同月比	100.1%	103.0%	101.5%	103.2%	101.8%	102.0%	101.1%	103.5%	102.3%	102.2%	107.8%	106.5%	105.6%	104.6%

※既存店基準：開店日より24ヶ月を経過した店舗を対象としております。

飲食業界の新業態は浸透に時間がかかる構造に変化してきている



かつてはプロモーションによりオープン直後に集客を最大化することができていた。



実際に店舗へ行った人の口コミや写真を参考に来店する傾向が高まり、口コミ等が揃うまで新業態の浸透に時間がかかる。

- 1 口コミが揃うまでの1年程度は着実に店舗運営ができるしっかりした業態と体制構築が必要。
- 2 ジェイグループの得意分野である作り込まれた長く愛される業態が活躍できる。

前期新業態の1年経過後の売上高前年同月比

	オープン日	1年1ヶ月	1年2ヶ月	1年3ヶ月
PIT TAVERN 名駅店	2016年3月1日	113.2%	121.3%	101.2%
PIT TAVERN 栄店	2016年3月1日	110.0%	129.0%	133.4%
献	2016年4月22日	99.6%	113.6%	116.8%
吟醸マグロ	2016年5月26日	203.7%	171.3%	171.1%
串星	2016年5月26日	147.0%	102.8%	113.9%

- 前期オープンの新業態は口コミが揃いだす1年経過後は着実に売上高を伸ばし成長している。
- 業態の柱となることを期待し「吟醸マグロ」は更に業態の完成度を高め、8月23日に「光蔵」として新規オープン。



十八代「光蔵」吟醸マグロ

オープン日： 8月23日
坪数： 50.07坪
席数： 74席
住所： 名古屋市中区

- 1 前期の新店「吟醸マグロ」で培った経験をもとに、旗艦店「光蔵」をオープン。
- 2 店舗スタッフが東海三県40カ所以上の酒蔵を訪問し、ここでしか飲めないレアなお酒を取り揃える。
- 3 お客様とともに、日本酒コミュニティを形成し、継続的なご来店と店舗スタッフとのコミュニケーションを促進。

価格帯ラインナップを拡大する新業態を出店

新業態：SARUBARUSA



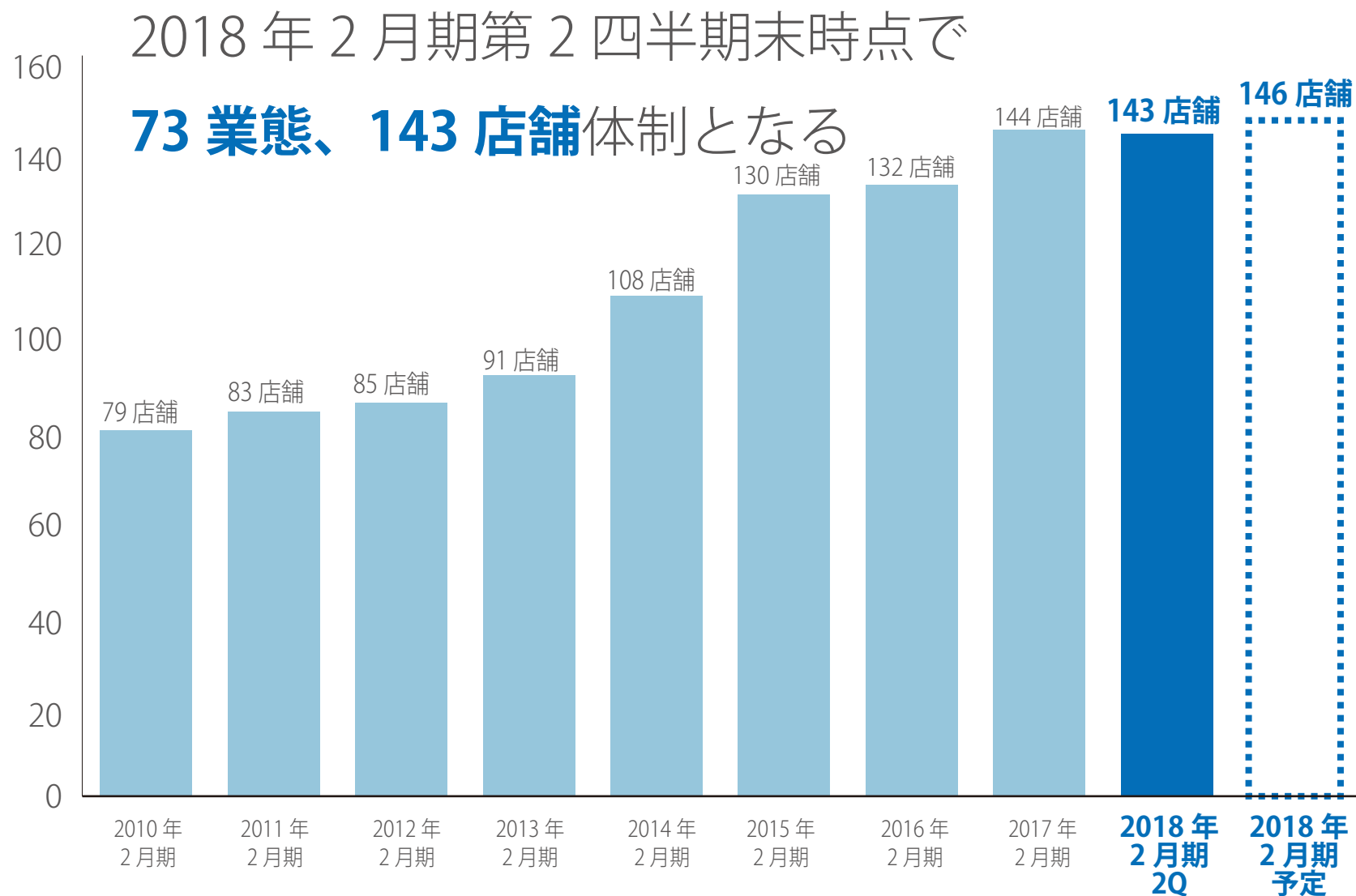
カフェ業態のテコ入れ策も兼ねた、カフェとバルを融合した客単価 3,000 円台の新業態「SARUBARUSA」を6月16日にオープン。

新業態：おざぶ



日本酒を前面にアピールし、増加する訪日観光客もターゲットにした新業態「おざぶ」を6月7日にオープン。

- 1** SC（ショッピングセンター）内の店舗を中心にカフェ・レストラン業態の不採算店舗 6 店舗で撤退を完了。
- 2** カフェ業態は、コンビニ等の低価格コーヒーやスイーツとの競争により採算性が悪化。
立地条件が良いカフェ業態をお酒を中心としたバル業態や居酒屋業態へ転換。
- 3** レストラン業態は、複数ブランドを組み合わせることで、堅調な推移をしている丸八食堂のように複合型の店舗開発を推進。





3. 今後の取り組み



社内カンパニー制の開始

グループでの法人囲い込み

地域別に 5 つの社内カンパニーを 9 月 1 日に発足

名駅北	名駅南	Lucent	栄	金山
芋蔵 名駅店 爽鷄屋 名駅三丁目 てしごと家 名駅店 ためつ食堂 四七四七につぽん 名駅店 猿 Cafe 名駅桜通店 名駅豚酒場 活々豚々 二六丸 名駅店 ほっこり名駅店 はかた屋名駅店 MANOA VALLEY CAFE	新九 名駅店 芋蔵 駅西店 UMEHA 串楽街 旬道大地 tantan 名駅店 PIT TAVERN 名駅店 きじょうもん	ほっこり Lucent 名古屋丸八食堂 Lucent 燦家 Lucent 芋蔵 Lucent 猿 Cafe Lucent 伊助	新九 栄本店 芋蔵 栄店 ほっこり 栄本店 きばくもん 猷 光蔵 PIT TAVERN 栄店 てしごと家 栄本店 雑草家 お勝手たんと 猿 Cafe 栄町店 猿 Cafe 錦店 猿 Cafe 愛知学院 名城公園キャンパス店	てしごと家 金山店 金山きらり 爽鷄屋 金山店 芋蔵 BAR GIRI 芋蔵 金山店 二六丸 金山店 金山豚酒場 活々豚々 どなんち 金山店 串星 吟醸マグロ 88huithuit アスナル金山
所属店舗：11 店舗 所属社員：51 名	所属店舗：8 店舗 所属社員：33 名	所属店舗：6 店舗 所属社員：29 名	所属店舗：13 店舗 所属社員：55 名	所属店舗：11 店舗 所属社員：46 名

大幅な権限委譲とともに数値責任を明確化

数値責任

社内カンパニー長は、カンパニー内での売上高、営業利益に責任を持ち
個店での数値目標達成だけでなくカンパニー全体での独立採算を目指す。

権限移譲

出店、撤退以外のすべての権限を社内カンパニー長へ権限委譲する。
営業日、営業時間、社員・アルバイトの配置、アルバイトの採用、
メニュー開発、販売促進など自由度を高めてカンパニー独自の進化を促す。

 **人材配置のエリア最適化による人件費削減**
地域特性に応じた柔軟な営業体制による売上向上

ジェイグループの強み

グループ
知名度

ドミナント
出店

多業態
展開

- 1 社会人野球での関係構築等により名古屋の法人においてジェイグループの知名度は高い
- 2 ドミナント出店により店舗網が広く宴会需要、2次会需要に的確に対応可能
- 3 多業態展開により1次会、2次会での連続利用や、連日利用が見込める



**ジェイグループの強みを最も効果的に活用するため
まずは法人顧客の囲い込みに向け体制構築を開始**



数寄屋橋
えどわん

数寄屋橋「えどわん」

オープン日： 9月29日
坪数： 69.05坪
席数： 72席
住所： 東京都中央区銀座



- 1 東京の地産地消をテーマにブランド豚「TOKYO X」や江戸東京野菜、東京で醸造されたワインや日本酒を提供。
- 2 客単価 7,000 円 ~8,000 円を想定した居酒屋のアップー業態として展開。
- 3 銀座という立地を活かし、訪日外国人も視野に入れた日本の美を取り入れた内装で高級感を演出。

今後の新規出店予定②



11月

11月オープン予定
バル業態（リニューアル）
愛知県豊田市

11月

11月オープン予定
居酒屋業態（リニューアル）
愛知県刈谷市

11月

11月オープン予定
豊田駅前の再開発ビルへ居酒屋業態出店
愛知県豊田市

11月

11月オープン予定
金山に居酒屋業態（リニューアル）
名古屋市熱田区

11月

11月オープン予定
ルーセントタワーに
居酒屋業態（リニューアル）
名古屋市西区

11月

11月オープン予定
名駅に居酒屋業態（リニューアル）
名古屋市中村区

12月

12月オープン予定
東京蒲田に居酒屋業態出店
東京都大田区

12月

12月オープン予定
埼玉県志木に新業態を出店予定
埼玉県志木市

「飲食業 + α 」の創出

飲食業界において、人件費の高騰、および食材原価の高騰は終わりのない継続的な課題となることが予想される。

様々な取り組みにより、売上高の向上、人件費・食材原価のコントロールを行っていくが、それだけではなく、構造的に利益を獲得できる+ α の要因が必要になってくる。



「飲食業 + 不動産」



「飲食業 + エンタメ」



「飲食業 + 文化情報発信」

「飲食業 + コト消費」

体験型消費への進出として BBQ サービスの提供を開始



8月8日に新会社「株式会社 Second ENGINE」を設立し、新規事業「TOKYO BBQ RESORT」を開始。グランピングなど、ラグジュアリーなアウトドア体験が人気を集めている中、飲食事業のノウハウを活かし、アウトドアやケータリングの需要に対応しリッチな本格食材による手ぶら BBQ 体験を提供。

名称： 株式会社 Second ENGINE
所在地： 東京都港区芝浦三丁目
代表者： 代表取締役 林 裕二
資本金： 500 万円
事業内容： アウトドアにおける飲食関連サービスの企画および運営

La Boca Centro が AAP アワードを受賞



賞の概要： AAP は建築業界でもっとも権威のあるアワードの一つであり、類い稀な才能を遺憾なく発揮し、建築やインテリアの未来に多大な影響を与え、新たな基準（new standard）を創出した建築家やデザイナーを選出し、讃えることを目的に設立。

正式名称： The American Architecture Prize

受賞部門： Interior Design

カテゴリー： Commercial Interior

プライズ： Winner（第1位）

今期の業績見通し



(百万円)

	2017年2月期 通期実績	2018年2月期 業績予想	前年同期比 (%)
売上高	14,357	15,000	104.5
営業利益	53	150	278.1
経常利益	61	130	211.7
親会社株主に帰属する 当期純利益または純損失	△83	50	—
配当金	中間 1.5円 期末 1.5円	中間 1.5円 期末 1.5円	

【IRに関するお問い合わせ先】
株式会社ジェイグループホールディングス
管理本部 IR担当
TEL：052-243-0026

当資料は株式会社ジェイグループホールディングスが作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。

複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や
債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、
事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。